

下田総合庁舎  
定例記者懇談会資料

令和5年6月23日

賀茂地域局

次回の定例記者懇談会  
令和5年7月25日（火）  
午前9時30分から  
会場：賀茂キャンパス

# 目 次

## ◎重要施策発表

消費生活センターの概要、相談状況について	1
(賀茂広域消費生活センター)	

## ◎7月の行事予定

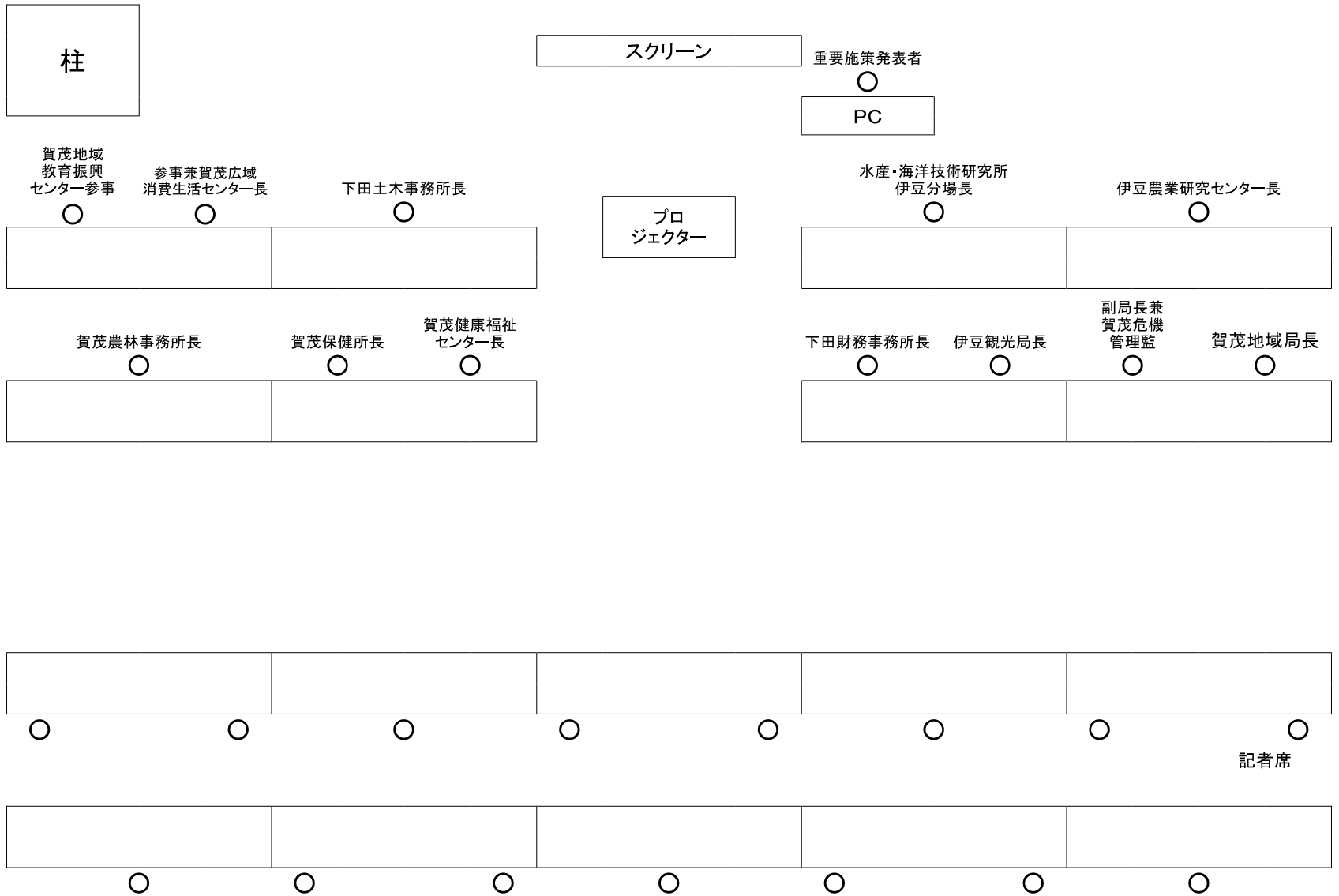
行事予定表	11
賀茂キャンパス活用プログラム「静岡県立大学 社会人講座」第29回講座	13
(賀茂地域局地域課)	
令和5年度「静岡県立大学 高校生のための観光講座」第2回講座	15
(賀茂地域局地域課)	
統計冊子「新 南伊豆のすがた」令和4年版の発行について	16
(賀茂地域局地域課)	
防災講座の開催	17
(賀茂地域局危機管理課)	
賀茂地域災害ボランティアに関する連絡会議の開催	18
(賀茂地域局危機管理課)	
令和5年度 賀茂指揮官会議の開催について	19
(賀茂地域局危機管理課)	
歴史・文化資源を活用した商品プラン開発セミナー開催	20
(伊豆観光局)	
租税教室について	22
(下田財務事務所)	
農薬危害防止運動中央講習会の開催	23
(賀茂農林事務所)	
夏季観光シーズンにおける道路工事の自粛について	24
(下田土木事務所)	
消費者教育出前講座の実施	27
(賀茂広域消費生活センター)	

## 名簿

	役職名	氏 名
1	賀茂地域局長	しらとり みちひろ 白鳥 満啓
2	賀茂地域局副局長兼賀茂危機管理監	ぬまの かつし 沼野 克史
3	伊豆観光局長	いちかわ けん 市川 顯
4	下田財務事務所長	かみや あきよし 神谷 明良
5	賀茂健康福祉センター所長	すずき ふじお 鈴木 藤生
6	賀茂健康福祉センター医監兼賀茂保健所長	ほんま よしゆき 本間 善之
7	賀茂農林事務所長	もろた りょう 諸田 僚
8	農林技術研究所伊豆農業研究センター長	たねいし もとひろ 種石 始弘
9	水産・海洋技術研究所伊豆分場長	よしかわ やすお 吉川 康夫
10	下田土木事務所長	とつか ひろふみ 戸塚 博文
11	賀茂広域消費生活センター所長	くらしま ひろあき 倉島 浩彰
12	賀茂地域教育振興センター参事	つちや かずみ 土屋 一巳
13	賀茂地域局次長兼地域課長	しらつち たつお 白土 達夫
14	賀茂地域局参事兼危機管理課長	すずき かなめ 鈴木 要

# 賀茂地域定例記者懇談会 座席表

(下田総合庁舎別館 2階 賀茂キャンパス)



出入口

記者席

# 重要施策発表 R5.6.23

賀茂広域消費生活センター



## 本日の題目

- 消費生活センターの概要
- 消費生活相談の状況
- 「副業」「脱毛エステ」トラブル
- 消費者教育・啓発
- 困ったら、0558-24-2299 又は  
188（いやや）に電話！

本日は、「消費生活センターの概要」、「消費生活相談の状況」、  
「副業」「脱毛エステ」トラブル、「消費者教育・啓発」などについて  
説明する。

## 消費生活センターの概要

- ・平成28年4月開所
- ・ **静岡県と賀茂地域1市5町が共同で設置**

○ センターの概要 (R5予算：7,494千円)

職員	所長、消費生活相談員、県民相談員 計3名
業務内容	消費生活相談、消費者教育・啓発、県民相談(法律・身の上相談)

○ 消費生活相談受付件数推移

年度	H27	H28	H29	H30	R元	R2	R3	R4
件数	75	222	253	266	233	265	203	284
対H27比		2.96倍	3.37倍	3.55倍	3.11倍	3.53倍	2.71倍	3.79倍

平成28年4月に県と6市町共同で賀茂広域消費生活センターを設置。

職員は所長(県職員)、消費生活相談員、県民相談員(いずれも会計年度任用職員)の3名。

業務内容は消費生活相談、消費者教育・啓発、県民相談(法律・身の上相談)場所は県下田総合庁舎6階。

センターの開設により、潜在化していた消費者トラブルや相談が掘り起こされて相談件数は増加しており、令和4年度は過去最多の284件。

専門的な立場からの助言やあっせんが可能となり、地域住民の安心につながっている。

## 消費生活相談の状況～相談件数～

### 相談者住所別相談件数

(令和4年度)

下田市	東伊豆町	河津町	南伊豆町	松崎町	西伊豆町	その他・不明	計
107	43	30	33	31	27	13	284

### 年代別相談件数

(令和4年度)

20歳未満	20代	30代	40代	50代	60代	70歳以上	不明	計
7	14	19	26	46	50	105	17	284
2.5%	4.9%	6.7%	9.1%	16.2%	17.6%	37.0%	6.0%	100%

○70歳以上の高齢者からの相談：全体の約4割

年代別相談件数を見ると、70歳以上が全体の約4割弱を占めている。



## 消費生活相談の状況～主な相談内容～

- ・化粧品をお試しのつもりで購入したが、定期購入となっていた。解約したい。



- ・不審なメールが何回も送信されてくるが、どうしたらよいか。



- ・ネットで商品の購入申込みをして代金を送金したが、商品が配送されず、相手と連絡がとれない。



令和4年度は特に定期購入に関する相談が多かった。

定期購入を条件とすることが表示されてはいるものの、文字が小さい、スマホを何度かスクロールしないと表示されない、など、

消費者にとって分かりにくい表示となっており、定期購入であることに気づかないまま購入してしまうケースが多い。

不審なメールや、商品が届かないなどネット通販のトラブルに関する相談も多い。

## 「副業」トラブル

「簡単な仕事でたくさん稼げる」と思ったのに

...

怪しいからやめようとしたら、マニュアル代数万円請求された！

### <注意点>

- ・「簡単に儲かる」「収入保証」という言葉を安易に信用しない。
- ・一旦登録してしまうと、マニュアル代のほか、登録料、手数料、サポート料など、**様々な名目で金銭を要求される。**



若者を中心に、「副業」のトラブルに関する相談がいくつか入っている。

SNS上で「簡単な仕事で月50万円稼げる」などとうたう副業サイトを見つけて登録すると、仕事とは関係ないマニュアルが送付され、

途中でやめようとしても高額なマニュアル代を請求され、支払を拒否するとしつこく催促される。

一旦サイトに登録してしまうと、マニュアル代のほか、登録料、手数料など様々な名目で金銭を要求されるケースもある。

「簡単に儲かる」などという言葉を手軽に信用しないことが重要。

## 「脱毛エステ」トラブル

「無料体験」のつもりで行ったのに、高額なコースをしつこく勧誘された…

通っていたエステが倒産してしまった！  
どうしよう…

### < 注意点 >

- ・ 「無料体験」「お試し」「今だけお得」という言葉をうのみにしない。
- ・ 契約後の事情変化により、施術が受けられなくなることも考慮し、**契約期間、支払総額、解約条件等を十分確認の上契約する。**



「エステ」のトラブルに関する相談が県内で急増している。

広告で「無料体験」などとうたい、実際店舗に出向くと高額なコースをしつこく勧誘されるといったケースが目立つ。

また、契約した後エステが倒産してしまい施術が受けられなくなった、といったケースもある。

「無料体験」「今だけお得」という言葉をうのみにしない。

また、契約者自身やエステ側の事情変化により、施術が受けられなくなる可能性も考慮し、契約期間、解約条件などを十分確認の上契約することが重要。

## 消費者教育・啓発～出前講座～

消費者被害・トラブルを未然に防止するため、  
出前講座や啓発活動を行っています。

### <出前講座>

- ・高校生、専門学校生、高齢者などを対象として実施
- ・令和4年度:15回開催、677名受講

### <内容>

- ・契約の基礎知識
- ・若者に多い消費者トラブル
- ・賀茂地域における消費者被害
- ・悪質商法にだまされないためのポイント など



消費生活センターでは、消費者被害・トラブルを未然に防止するために出前講座や啓発活動を実施。

令和4年度は15回開催し677名が受講。

令和4年4月に成年年齢が18歳に引き下げられたことに伴い、高校生等を対象に契約の基礎知識、若者に多い消費者トラブルについての講座を実施。

高齢者を対象に悪質商法にだまされないためのポイントなどについての講座を実施。

# 消費者教育・啓発～啓発活動～

## <街頭キャンペーン>

- ・毎年5月と12月に実施
- ・5月25日東急ストア下田店で実施



※静岡新聞5月26日掲載

## <くらしが変わるカモ！>

- ・年3回発行し全戸回覧

くらしが変わるカモ！  
—生活と身の周りの気づきと知恵—  
買戻広域消費生活センター

**返品、受取り拒否しても解決しません！**  
～通信販売の定期購入トラブル～

化粧品、シャンプー、脱毛クリーム、サプリメント、電子レンジなど・・・  
届かなかったり届いたけどつもりで購入したら、次の月も届き、請求書の金額は高  
額！商品を返しましたが・・・

弁護士事務所が  
ら買戻状が！

**知っておこう通販のルール**

- 通販にクーリング・オフの制度はありません。
- 返品、解約等は業者のルールに従うことになりま
- 条件をしっかりと確認してから注文しましょう。

でも、定期購入とわかりにくい表示だったり、解約した  
くても電話がつかないといったこともあります。

困ったら買戻広域消費生活センターにご相談を！

買戻広域消費生活センター 電話：0556-21-2199  
受付時間：平日午前9時～午後3時 土日、祝日及び年末年始を除く  
土曜、日曜、休日の消費生活相談は、静岡市の188（消費者ホットライン）までお電話を

啓発活動として5月の消費者月間、12月の消費者被害防止月間に、それぞれ街頭キャンペーンを実施。

今年度は5月25日に東急ストア下田店で実施。

啓発チラシ「くらしが変わるカモ！」を年3回発行し全戸回覧。

**困った、不安と思ったら、すぐ相談！**

困ったな、心配だな、と思ったら  
賀茂広域消費生活センターに相談してください。

**賀茂広域消費生活センター**

**0558-24-2299**

又は

**188**(ダマされるのは「いやや」)

1 8 8

困ったな、心配だな、と思ったら賀茂広域消費生活センター 0558-24-2299に相談。

全国共通消費者ホットライン「188」にダイヤルすると、最寄りの消費生活センターにつながる。

## 行事予定表（令和5年7月分）

日	曜日	賀茂地域局	下田財務事務所	賀茂健康福祉センター	賀茂農林事務所	下田土木事務所
1	土					
2	日					
3	月	①防災講座 9:20-10:05 稲生沢小学校 ②災害ボランティア連絡会議 13:30- 賀茂危機管理庁舎				
4	火	①防災講座 9:10-11:00 松崎小学校 ②防災講座 16:30- 南伊豆認定こども				
5	水					
6	木	①防災講座 13:25-15:00 朝日小学校 ②指揮官会議 13:30- 賀茂危機管理庁舎				
7	金	防災講座 9:20-15:10 西伊豆中学校				
8	土					
9	日					
10	月		租税教室 9:25- 朝日小学校			
11	火	防災講座 10:10-11:45 浜崎小学校				
12	水					
13	木	防災講座 9:20-11:30 さくら幼稚園				
14	金					
15	土	高校生のための観光講座 13:30-15:30 下田市内				夏季工事抑制期間 7/15～8/20
16	日					
17	月					
18	火	①防災講座 10:10-10:55 浜崎小学校 ②防災講座 13:00-14:40 下田小学校			農薬気概防止運動中央講習会 14:30- 下田総合庁舎2F-3	
19	水	防災講座 9:00-10:00 下田認定こども園	租税教室 10:10- 下田小学校			
20	木					
21	金	社会人講座 13:30- 賀茂キャンパス				
22	土					
23	日					
24	月	防災講座 13:30-15:00 伊豆松崎分校				
25	火	定例記者懇談会 9:30- 賀茂キャンパス				
26	水					
27	木	防災講座 9:00-11:00 伊豆下田分校				
28	金					
29	土					
30	日					
31	月					

## 行事予定表（令和5年7月分）

日	曜日	農林技術研究所 伊豆農業研究センター	水産・海洋技術研究所 伊豆分場	賀茂広域 消費生活センター	賀茂地域 教育振興センター	伊豆観光局
1	土					
2	日					
3	月					
4	火					
5	水					
6	木					学生・企業等向けセミナー① 18:30-20:30 三島市
7	金					
8	土					
9	日					
10	月					
11	火					
12	水					
13	木			特別支援学校伊豆松崎分校出前講座 11:00-11:50 松崎町		観光関係者向けワークショップ③ 14:00-16:00 伊豆市
14	金					
15	土					
16	日					
17	月					
18	火					
19	水					
20	木					学生・企業等向けセミナー② 18:30-20:30 三島市
21	金					
22	土					
23	日					
24	月					
25	火					
26	水					
27	木					観光関係者向けワークショップ④ 15:00-17:00 沼津市
28	金					
29	土					
30	日					
31	月					



令和5年6月23日

定例記者懇談会資料

## 賀茂キャンパス活用プログラム「静岡県立大学 社会人講座」第29回講座

(賀茂地域局)

### (要旨)

「静岡大学、静岡県立大学、静岡文化芸術大学と賀茂地域1市5町の相互連携に関する協定」に基づき、賀茂キャンパスにおいて、静岡県立大学による「観光人材育成のための社会人講座」の第29回講座を令和5年7月21日(金)に実施する。

※参加費は無料、毎月1回開講予定(単発の参加可)

### (概要)

日時	第29回 令和5年7月21日(金) 13:30~15:00 ※毎月1回継続実施
会場	静岡県下田総合庁舎別館2階 賀茂キャンパス ※別館1階玄関からお入りください。 ※駐車場台数に限りがあるため、公共交通機関の利用・車の乗り合わせに協力願います。
内容	講師：静岡県立大学大学院 八木 健祥 経営情報イノベーション研究科長 兼ツーリズム研究センター長 演題：『コロナ5類引き下げ後の旅行需要について』
対象	県民(定員48人)
参加費	無料
申込	 QRコードからの申込、もしくは、 静岡県立大学ツーリズム研究センターのメール：trc@u-shizuoka-ken.ac.jp、 又はFAX：054-264-5476に氏名、所属、電話番号を記入の上、お申込みください。 ※定員に達した場合は、参加をお断りすることがあります。
問合せ先	賀茂地域局地域課 電話：0558-24-2204 主催：静岡県立大学大学院経営情報イノベーション研究科附属ツーリズム研究センター 共催：静岡県賀茂地域局

担当：賀茂地域局地域課  
連絡先：0558-24-2204

# 賀茂キャンパス 観光人材育成のための 社会人講座

主催：静岡県立大学ツーリズム研究センター  
協賛：静岡県賀茂キャンパス活用推進委員会

## 2023年 第29回

### 7月21日(金) 13:30～15:00

静岡県下田総合庁舎内賀茂キャンパス(下田市中531-1)

#### コロナ5類引き下げ後の旅行需要について

**講師：八木 健祥**

静岡県立大学経営情報学部教授

1981年4月 日本銀行入行

2008年6月 日本銀行静岡支店次長

2019年4月 静岡県立大学教授

2020年4月 静岡県立大学大学院経営情報イノベーション研究科

ツーリズム研究センター長

【専門分野】観光政策、交通経済論



【講話要旨】

本年5月より新型コロナウイルスの感染法上の扱いが5類に引き下げられました。事実上、行動規制はすべて撤廃され、コロナ発生前の状態に戻りましたが、旅行需要もコロナ発生前の状況に戻っていくのでしょうか。一方で、折からの物価高、所得環境の低迷はどの程度旅行需要に影響を与えているのでしょうか。夏休みから旧盆期間中、秋口にかけての旅行需要を首都圏消費者を対象としたアンケート結果等を踏まえ解説していきたいと思います。

働きながら学べる最新の観光情報。無料で参加できます。

メール、FAXもしくはQRコード  
からお申込みください。

静岡県立大学大学院経営情報イノベーション研究科附属  
ツーリズム研究センター

Mail: [trc@u-shizuoka-ken.ac.jp](mailto:trc@u-shizuoka-ken.ac.jp)

FAX : 054-264-5476



## 令和5年度「静岡県立大学 高校生のための観光講座」第2回講座 ～ 高校生がフィールドワークで感じる下田、賑わい創出を考える！ ～

(賀茂地域局)

## (要旨)

観光を通じた地域課題の解決法を検討していく中で、高校生が自ら考えを発見し、提案(プレゼンテーション)する力を身につけることを目的に「高校生のための観光講座」(第2回目)を下記のとおり実施する。

この講座は、「静岡県立大学、静岡県立大学、静岡文化芸術大学と賀茂地域1市5町の相互連携に関する協定」(平成30年12月18日締結)に基づき、静岡県立大学が令和3年度から実施しており、今年度は、今回をスタートに全4回を予定し、第4回ではフィールドワーク等を踏まえての「下田市における観光を通じた地域活性化」について取りまとめ提言する。

※全4回開講予定(①6/17(土)、②7/15(土)、③10月頃、④11月頃を予定)

## (概要)

日 時	<b>第2回 令和5年7月15日(土) 13:30～15:30</b> ※全4回実施(①6/17(土)、②7/15(土)、③10月頃、④11月頃を予定)
会 場	下田市内、賀茂キャンパス(県下田総合庁別館2階)
内 容 (スケジュール)	<b>講師：静岡県立大学大学院ツーリズム研究センター 八木 健祥 センター長</b> 13:30 伊豆急下田駅 集合 <b>13:30～ 下田市内をフィールドワーク(下田駅周辺)</b> <b>15:00～ 賀茂キャンパスにてワークショップ、下田高校生徒アンケート調査</b>
参加者	下田高校1～3年生の受講希望者
その他	本講座修了後に、静岡県立大学の学生と講座受講者との交流の場を設ける予定(10～15分程度)
問合せ先	(講座内容に関すること) 静岡県立大学大学院経営情報イノベーション研究科(担当：八木) 電話：054-264-5476 (会場に関すること) 静岡県立下田高等学校(担当：稲葉) 電話：0558-22-3164 (その他に関すること) 賀茂地域局地域課(担当：中村) 電話：0558-24-2204 ※当日：090-8375-8087(中村)

担 当：賀茂地域局地域課

連絡先：0558-24-2204

## 統計冊子「新南伊豆のすがた」令和4年版の発行について

(賀茂地域局地域課)

南伊豆地域の過去や現状を深く理解するための様々な統計を掲載し、毎年発行している「新南伊豆のすがた」の令和4年版が完成しました。

以下3のとおり希望者への配布が可能である他、当地域局のホームページにデータを掲載しましたので、地域住民の皆様にお知らせ願います。

## 1 冊子の概要

- ・ A4版106ページ (モノクロ印刷)
- ・ 収録項目

## (1) 概況

市町の沿革、地域の主なできごと他

## (2) 人口

人口及び世帯数、高齢者(老年)人口及び高齢化率他

## (3) 観光業・商工業の状況

宿泊客数、観光交流客数、事業所の状況他

## (4) 県税の状況

税目別納税義務者数、税目別県税額他

## (5) 農林水産業の状況

主要農産物出荷額、農林産物への鳥獣被害額他

## (6) 交通の状況

伊豆地区有料道路月別通行台数、伊豆急行線各駅乗降人員他

## (7) 教育

学校数及び児童・生徒数、中学校・高等学校進路別卒業生数他

## (8) 財政・生活・その他

市町の財政指標、産業別総生産額、有効求人倍率、安全関連指標他

## (9) 付録

賀茂地域住民アンケート調査結果、伊豆縦貫自動車道の概要図

## 2 配布開始日

- ・ 令和5年6月26日(月)

## 3 希望者への配布

- ・ 140冊程度を無料で配布(なくなり次第終了)
- ・ 配布方法は、来所又は郵送による
- ・ 来所の場合は賀茂危機管理庁舎、下田総合庁舎どちらでも可
- ・ 郵送の場合は、郵送先を明記した封筒(角型2号)及び390円分の切手(1冊希望の場合)と使用目的(任意様式)を添えて賀茂地域局まで送付する

## 4 ホームページ掲載

<https://www.pref.shizuoka.jp/kensei/chiikikyoku/kamochiiki/1004352/1054795.html>

(賀茂地域局/ホーム>賀茂地域局/統計情報>新南伊豆のすがた)



表紙デザイン



送付先：〒415-0037 下田市敷根 765-15

静岡県賀茂危機管理庁舎 2階 賀茂地域局

担当：地域課地域班

連絡先：0558-24-2204

## 定例記者懇談会資料

## 防災講座の開催

(賀茂地域局 危機管理課)

## (目的)

賀茂地域局危機管理課では、防災における「自助・共助・公助」の基本を踏まえた地域防災力強化のため、自主防災組織、教育機関、ボランティア組織等、地域の防災を担う組織と連携して、防災講座や連絡会議等の開催、訓練・研修等を実施している。

## (概要)

実施日時	実施場所	実施対象	内容等	備考
7月3日(月) 9:20~10:05	稲生沢小学校 (下田市)	5年生	サバイバル	
7月4日(火) 9:10~11:00	松崎小学校 (松崎町)	4年生	災判ゲーム	
7月4日(火) 16:30~18:00	南伊豆認定こども園 (南伊豆町)	職員	職員研修	
7月6日(木) 13:25~15:00	朝日小学校 (下田市)	5年生	DIG	
7月7日(金) 9:20~15:10	西伊豆中学校 (西伊豆町)	全校	災判ゲーム、DIG、 HUG、地震体験	
7月11日(火) 10:10~11:45	浜崎小学校 (下田市)	4年生	災判ゲーム	
7月13日(木) 9:30~11:30	さくら幼稚園 (河津町)	全園児	訓練視察、地震体験	
7月18日(火) 10:10~10:55	浜崎小学校 (下田市)	4年生	イメトレ	
7月18日(火) 13:00~14:40	下田小学校 (下田市)	4年生	災判ゲーム	
7月19日(水) 9:00~10:00	下田認定こども園 (下田市)	職員	DIG	
7月24日(月) 13:30~15:00	伊豆松崎分校 (松崎町)	職員	職員研修	
7月27日(木) 9:00~11:00	伊豆下田分校 (下田市)	職員	職員研修	

(計 12回)

## (お願い)

学校での防災講座を取材する際には、各学校まで取材を行う旨をご連絡くださいますようお願いいたします。

講座の内容については、変更になる場合があります。

講座の内容に関するお問合せは下記担当までお願いいたします。

担 当：鈴木

連絡先：0558-24-2004

令和5年6月23日

定例記者懇談会資料

## 賀茂地域災害ボランティアに関する連絡会議の開催

(賀茂地域局 危機管理課)

### (目的)

賀茂地域において災害時における住民の避難支援・災害復旧等に重要な役割を担う災害ボランティア団体、社会福祉協議会、県、市町の防災担当職員が一堂に会し、賀茂地域の防災対策について情報提供・意見交換を行い、相互の連携強化を図る。

### (概要)

#### 1 日時

令和5年7月3日(月) 13:30～15:30

#### 2 場所

静岡県賀茂危機管理庁舎 1階各班室  
及びオンライン会議併用

#### 3 内容

- (1)令和4年度の各機関の事業実績の報告
- (2)令和5年度の各機関の事業予定の報告
- (3)その他意見交換・情報提供など

#### 4 参加機関(予定)

賀茂管内の災害ボランティア団体、賀茂管内の市町社会福祉協議会、静岡県ボランティア協会、静岡県社会福祉協議会、管内市町、静岡県

担当：主任 鈴木

連絡先：0558-24-2004

## 令和5年度 賀茂指揮官会議の開催について

(賀茂地域局危機管理課)

### (趣旨)

大規模災害により孤立化が予想される賀茂地域では、自衛隊をはじめとする防災関係機関の役割が極めて重要であるため、各部隊の指揮官と管内市町長等が一堂に会して意見交換を行う「賀茂指揮官会議」を毎年開催し、地域の防災力向上と相互の連携体制の強化を図っている。

今回のテーマは「災害対応における『応援』と『受援』」とし、令和4年台風第15号における対応について、応援側の陸上自衛隊、受援側の市町の双方による講演を行うとともに、調整役の県を含めた3者間連携における災害応急対策活動の課題と今後の対応について意見交換を行う。

### (概要)

#### 1 日時

令和5年7月6日(木) 午後2時～午後5時

#### 2 場所

静岡県賀茂危機管理庁舎 1階各班室(下田市敷根765-15)

#### 3 内容(予定)

##### ○第1部 講演(午後2時～3時30分頃)

(1) (仮)令和4年台風第15号における川根本町の対応

講師：川根本町総務課長 山田 貴之 氏

(2) (仮)第34普通科連隊の概要と台風第15号被害に伴う災害派遣活動について

講師：陸上自衛隊第34普通科連隊長 水野 克輝 氏

##### ○第2部 議事(午後3時40分頃～5時)

内容：災害時応援・受援体制に係る意見交換

#### 4 構成員

区分	構成員
防災関係機関	陸上自衛隊第34普通科連隊長 陸上自衛隊普通科教導連隊長 海上自衛隊横須賀地方総監部防衛部長 下田海上保安部長、下田警察署長、下田消防本部消防長 駿東伊豆消防本部東伊豆消防署長、沼津河川国道事務所長 賀茂医師会長、賀茂歯科医師会長、賀茂薬剤師会長 東京電力パワーグリッド株式会社伊豆支社長
市町	下田市長、東伊豆町長、河津町長 南伊豆町長、松崎町長、西伊豆町長
静岡県	賀茂地域局長、賀茂危機管理監、危機管理部参事(市町支援担当) 賀茂健康福祉センター所長、賀茂保健所長、賀茂農林事務所長 下田土木事務所長

担当：危機管理課

連絡先：0558-24-2004

令和5年6月23日

定例記者懇談会資料

## 歴史・文化資源を活用した商品プラン開発セミナー開催



(伊豆観光局)

### 伊豆・富士山地域の歴史や文化を活かした

商品プラン開発セミナー（夜間講座）を令和5年7月6日(木)から開催します

県では、大河ドラマの放送を契機とした歴史・文化資源を活用した誘客・広域周遊促進の定着を図るため、伊豆・富士山地域の歴史・文化資源を活用した新たなビジネス創出の方法を考えるセミナーを開催します。

学生や企業、新規ビジネスの展開を考えている方などを対象に、ワークショップ形式で、当該地域の歴史・文化資源がビジネスに活用できることを体感してもらうことで、次世代観光人材の育成を行うとともに、観光誘客の新たな可能性を探ります。

- 1 日時** 7月6日(木)、7月20日(木)、8月3日(木)、8月24日(木)、9月21日(木) 各回午後6時30分から午後8時30分まで
- 2 会場** 三島市民文化会館（三島市一番町 20-5）
- 3 講師** NPOサプライズ代表理事 飯倉 清太 氏
- 4 対象者** 静岡県伊豆・富士山地域を拠点に活動する学生、企業、新規ビジネスを展開したい方、本セミナーに興味のある方 15名程度

### 【参考】令和5年度 歴史・文化資源を活用した観光地域づくり定着促進事業 概要

第1弾	観光関係者向けワークショップ（6～7月）
第2弾	学生・企業等向けワークショップ（7～9月）
第3弾	デジタルスタンプラリー（10月～11月）
第4弾	住民向けシンポジウム（12月）

担当：東部地域局地域課 小玉  
連絡先：055-920-2139





# 伊豆・富士山地域の 歴史と文化を活かした 商品プラン開発セミナー

**伊豆・富士山地域の歴史や文化資源を活用した新たなビジネスモデルを考えてみませんか？**

※伊豆・富士山地域とは…富士宮市、富士市、沼津市、三島市、函南町、小山町、御殿場市、裾野市、長泉町、清水町、伊豆の国市、伊豆市、熱海市、伊東市、西伊豆町、松崎町、東伊豆町、河津町、下田市、南伊豆町の20市町

【全5回連続講座】 ●時間：各回 18:30～20:30 ●定員：15名（申込先着順） ●参加費：無料

第1回	7/6 (木)	プランニングのコツを学ぼう！	歴史と文化を活かした商品プラン開発
第2回	7/20 (木)	チームビルディング	それぞれのプランを発表し合いチーム編成
第3回	8/3 (木)	プランを深めよう！	チームごとにプランをブラッシュアップ
第4回	8/24 (木)	プレゼンしてみよう！	プランや思いを人に伝えるトレーニング
第5回	9/21 (木)	公開プレゼン（全体報告会）	ビジネスプランを発表、ふりかえり

**【講師紹介】飯倉 清太（NPO サプライズ代表理事）**

1970年 静岡県生まれ。伊豆市在住。地域のゴミ問題に疑問を抱き 38歳で仲間と清掃活動をスタートし、継続させていくためにNPO法人を設立し高校生や住民を巻き込み活動を広げる。集まった人との絆で町の拠点づくりへと発展。地域食材を発信する「伊豆食べる通信」元編集長。2019年度から静岡大学地域創造学環客員教授に就任。



【対象】 静岡県伊豆・富士山地域を拠点に活動する学生 / 企業の方 / 新規ビジネスを展開したい方  
または 本セミナーに興味のある方

【会場】 三島市民文化会館 〒411-0036 静岡県三島市一番町 20-5

【申込期限】 令和5年6月22日(木) まで

【お申込み】 <https://forms.office.com/r/FSfiQXpR7n> または QR コードから

お申込みはこちら▼



静岡県では大河ドラマ「鎌倉殿の13人」（2022年）、「どうする家康」（2023年）の放送を契機に地域が持つ歴史や文化資源に光を当て、住民の理解を深めることにより地域への愛着や誇りを醸成し、人を呼び込む地域づくりを「ぶしのくに静岡県」を基本コンセプトに実施しています。

【主催】 静岡県、ぶしのくに静岡県 伊豆・富士山周遊促進連絡協議会(事務局：静岡県東部地域局)

【企画運営】 JTB 静岡支店・特定非営利活動法人 NPO サプライズ

【お問合せ】 JTB 静岡支店(太田・吉田) 電話：054-221-2398 メール：bushinokuni\_shizuoka@jtb.com



## 租税教室について

(下田財務事務所)

### (要旨)

下田市・賀茂郡租税教育推進協議会（事務局：下田税務署）が実施する「租税教室の開催」事業で、下田財務事務所の職員が下田市内の小学校2校に対して租税教室を行います。

### (租税教室の目的)

- ・我が国の次代を担う生徒・児童に対して健全な納税者意識を養います。
- ・「支え合いにより成り立っている社会」で税金が社会を支えるための「会費」であるというイメージをもってもらいます。

### (概要)

#### 1 朝日小学校（下田市吉佐美544 電話0558-22-0702）

- (1) 日時 令和5年7月10日（月）午前9時25分から
- (2) 対象 6年生14名
- (3) 担当 工藤教諭

#### 2 下田小学校（下田市5丁目3-1 電話0558-22-0055）

- (1) 日時 令和5年7月19日（水）午前10時10分から
- (2) 対象 6年生39名（予定）
- (3) 担当 田村教諭

#### 3 租税教室の内容

- (1) 身近な学校に関わる税金についてクイズ。
- (2) 納付した税金が具体的に何に使われているか。
- (3) 国税庁作成 税教育用DVD（「マリンとヤマト 不思議な日曜日」）鑑賞

#### 4 注意事項

- (1) 撮影について  
両小学校に撮影について了解をいただいておりますが、個人情報の扱いには十分配慮して撮影をお願いします。
- (2) 下田税務署担当 総務課 後藤志帆 （0558-22-0208）

担 当：下田財務事務所 管理課 深沢  
連絡先：0558-24-2013

令和5年6月23日

定例記者懇談会資料

## 農薬危害防止運動中央講習会の開催

(賀茂農林事務所)

### (農薬危害防止運動の目的)

農薬取締法、毒物及び劇物取締法等の関係法令に基づき、農薬の適正な販売、安全かつ適正な使用、管理及び農薬使用者の自発的な知識、理解の向上等を推進するため、農林水産省、厚生労働省及び環境省の指導の下、関係諸団体の協力を得て、「農薬危害防止運動」を実施している。

### (実施期間)

令和5年6月1日～8月31日まで

### (活動内容)

- 1 農薬の安全使用に関する講習会の開催
  - (1) 中央講習会（農薬使用者、農薬販売者、関係機関向け）
  - (2) 地域講習会（農薬使用者向け）
- 2 農薬販売者・農薬使用者に対する立入指導の実施
- 3 広報・ポスター等による啓発活動

### (中央講習会の開催)

農薬危害防止運動の活動の一つとして各地域の関係者を対象にした講習会を開催する。

- 1 日 時 令和5年7月18日（火）14:30～16:30
- 2 場 所 下田総合庁舎2階第3会議室
- 3 内 容
  - (1) 農薬の安全使用について（賀茂農林事務所）
  - (2) 毒物劇物の取扱について（賀茂健康福祉センター）
  - (3) 農薬の販売について（下田警察署）
- 4 参集者  
農薬使用者、農薬販売者、農産物直売所、農協、市町

担 当 地域振興課  
連絡先 0558-24-2079

## 夏季観光シーズンにおける道路工事の自粛について

(下田土木事務所)

### (要旨)

夏季観光シーズンにおける、渋滞の緩和や観光客の安全確保のため、県、市町及び事業者（電気、ガス、電話等）が協力し、観光交通に影響を及ぼす主要路線の道路工事を自粛する。

### (概要)

#### 1 期間

令和5年7月15日（土） から 令和5年8月20日（日）まで

#### 2 内容

緊急工事を除き、原則として車線規制を伴う道路工事は実施しない

#### 3 対象路線

国道 135号	県道 熱川片瀬線
国道 136号	県道 稲取港線
国道 414号（旧道区間を除く）	県道 須崎柿崎線
県道 下佐ヶ野谷津線	県道 手石湊線
県道 下田松崎線	県道 松崎港線
県道 下田石廊松崎線	県道 稲取停車場線

#### <参考> 対象外路線

国道 414号（旧道区間）	県道 波勝崎線
県道 伊東西伊豆線	県道 仁科峠宇久須線
県道 湯ヶ野松崎線	県道 下田港線
県道 下田南伊豆線	県道 蓮台寺本郷線
県道 南伊豆松崎線	県道 河津下田線

担 当：維持管理課管理班  
連絡先：0558-24-2108

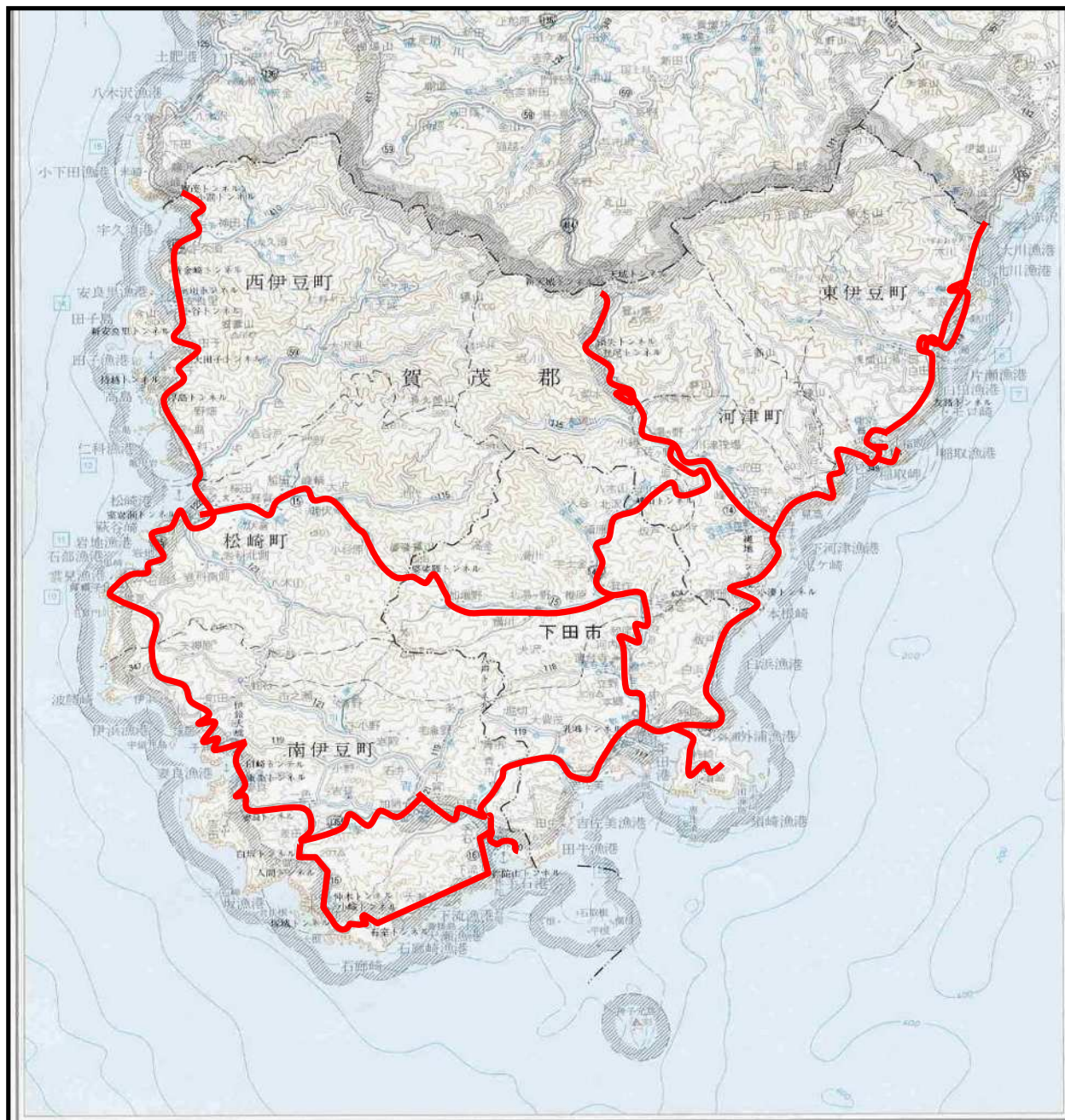
## 夏季観光シーズンにおける道路工事の自粛について(お知らせ)

下田土木事務所では、夏季観光シーズンの渋滞対策として、工事施工業者および占用工事関係者の方々の御協力をいただき、車線規制を伴う道路工事を自粛します。

<期間> 令和5年7月15日(土) ~ 令和5年8月20日(日)

<対象路線> (下記赤着色路線)

- |                   |            |
|-------------------|------------|
| ・国道 135号          | ・県道 熱川片瀬線  |
| ・国道 136号          | ・県道 稲取港線   |
| ・国道 414号(旧道区間を除く) | ・県道 須崎柿崎線  |
| ・県道 下佐ヶ野谷津線       | ・県道 松崎港線   |
| ・県道 下田松崎線         | ・県道 手石湊線   |
| ・県道 下田石廊松崎線       | ・県道 稲取停車場線 |



※なお、上記内容は天候及び緊急工事(占用工事を含む)などにより変更となる場合がありますのであらかじめご了承ください。

問い合わせ先  
〒415-0016 下田市中531-1  
静岡県下田土木事務所  
担当:維持管理課  
電話番号:0558-24-2108

下土維第133号  
令和5年6月13日

関係各位

静岡県下田土木事務所長

令和5年度夏季観光シーズンにおける道路工事及び  
道路占用工事等の抑制について（通知）

このことについて、下記のとおり道路工事及び道路占用工事を抑制します。  
道路工事及び道路占用工事関係者の皆様につきましては、御理解、御協力のほ  
どよろしく申し上げます。

なお、御不明な点等ございましたら、下田土木事務所担当課まで御連絡くださ  
い。

記

- 1 期 間 令和5年7月15日（土）から令和5年8月20日（日）まで
- 2 対象道路 別紙に示す道路
- 3 内 容 車線規制を伴う全ての道路工事  
※ ただし、道路の災害復旧及び損傷復旧、占用物件の復旧工事、  
除雪等緊急を要する工事についてはこの限りではない。

担 当 維持管理課 竹田  
電話番号 0558-24-2108

## 消費者教育出前講座の実施

(賀茂広域消費生活センター)

### (概要)

令和4年4月から成年年齢が引き下げられ、18歳になると未成年者取消権の保護対象から外れることとなり、未成年者取消権がなくなる若者が悪質事業者のターゲットにされることが懸念されています。

つきましては、高校生や専門学校生で成人となる生徒の消費者被害を防止するため、以下のとおり県から講師を派遣して出前講座を実施します。

### (出前講座の予定)

日 時	場 所	対 象
令和5年5月23日(火) 13:30~13:50	県立下田高校【実施済】	保護者210名参加
令和5年5月31日(水) 14:50~16:20	下田看護専門学校【実施済】	1年生27名参加
令和5年7月13日(木) 11:00~11:50	県立伊豆の国市特別支援学校 伊豆松崎分校	1~3年生
令和5年9月27日(水) 17:40~19:00	県立下田高校(定時制)	1~4年生
令和6年3月18日(月) 8:45~9:35	県立松崎高校	1~2年生

### (内容)

- 成年を迎えるにあたって必要な消費生活の基礎知識
  - ・ 契約やお金の基礎知識
  - ・ 若者が狙われやすい商法
  - ・ ネットショッピングの注意点
  - ・ 暮らしとお金
  - ・ 消費生活センターの紹介 など

担当： 倉島

連絡先： 0558-24-2206

## 防災講座の概要

## 1 防災講座内容一覧(例)

No.	メニュー	所要時間	人数制限
1	パワーポイント講座 (児童生徒・職員対象)	30分～	なし
2	災害図上訓練「DIG」 <sup>ディグ</sup> (児童生徒・職員対象)	90分～	なし
3	災害時判断ゲーム「クロスロード」 (児童生徒・職員対象)	45分～	なし
4	避難所運営ゲーム「HUG」 <sup>ハグ</sup> (中学生・高校生・職員・保護者対象)	90分～	なし
5	アイデア IDEA(職員対象)	90分～	なし
6	防災カルタ(小学校低学年用)	45分～	約40名
7	サバイバルスキルアップ講座	30分～	なし
8	地震体験車	40名で約30分	
9	災害イメージトレーニング(学校編)	90分～	なし
	災害イメージトレーニング(家庭編)	45分～	なし
10	防災ダック	30分～	なし
11	紙ぶるる	30分～	なし
12	ICTを活用した防災講座	45分～	約40名
13	ふじのくにジュニア防災 意識・啓発コース	45分～	なし

※ 上記以外の内容でも、学校からの要望に合わせた講座をすることもできますので担当まで御相談ください。

※ 時間は目安であり調整可能です。

※ モニター、スクリーン、プロジェクター、延長コード等を可能ならばお借りしたいです。



## 2 講座内容

### 【パワーポイント講座】 (小学校中学年以上)

パワーポイントによる図や写真を多用したスライドをご覧くださいながら、『地震のメカニズムについて』『津波について』『地震発生時の行動』『日頃から心がけること』など、地震や防災に関する説明を行います。内容は御希望に合わせて編集します。

### 【災害図上訓練「DIG」】 (小学校中学年以上)

県教委でも参加型防災訓練として推奨しているDIG(災害図上訓練)です。

危険箇所(例えば津波浸水予想区域や山・崖崩れの危険性が高いところ)や避難場所、公共施設など、さまざまな防災情報を地図に書き込み、参加者全員(グループごと)で地域の実情を知るとともに、災害時の対応を考える訓練のことで

す。防災情報を書き込み「こんなとき、どうする」というイメージトレーニングを行います。



職員のみなさんでDIGに取り組まれた学校もあります。

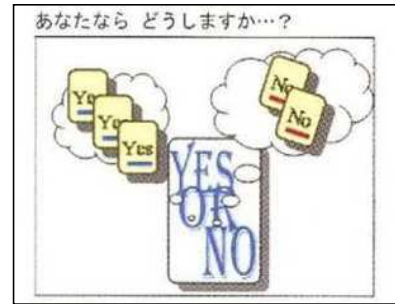
校舎や学校の敷地図を用いたDIGも実施しました。身近な校舎内に潜む危険箇所を確認し、地震が起こったとき対処の仕方や地震がおさまった後の避難の方法などを考えます。

参観日の授業で保護者の方と子どもたちが一緒に行くことも有意義です。こちらでの活用もご検討ください。

## 【災害時判断ゲーム「クロスロード」】(小学校高学年以上)

災害への備えをどうするか、大地震が起きたらどう対応するか。そこでは、私たちの日常生活では思いもよらないような『決断すべき場面』にたくさん遭遇するでしょう。

災害時判断ゲーム「クロスロード」はそんな決断の分かれ道・岐路(英語でクロスロード)を描いたゲームです。



例えば・・・【あなたは避難所担当の職員です。】

現在、避難所となった体育館にいる。館内では、毛布が不足気味。折よく取材にきた TV ニュースの番組クルー。テレビを通じて毛布提供を呼びかける？

◎呼びかける…Yes、 呼びかけない…No

ゲーム終了後にふり返しを行い、そのときの判断や対応について話し合いをします。

災害ついてさまざまな知識を得たり、イメージトレーニングをしたりするのに役立ちます。

## 【避難所運営ゲーム「HUG」】(中学生・高校生・職員・保護者)

「学校施設のうち、避難所としてどこまで使用するか」、「ペットを建物の中に入れることを認めるか」。災害時、避難所となる学校では、施設管理の面からも決定しなければならない事柄が生じます。避難所運営ゲームHUGは、体育館や教室を表す図面上にカードを配置しながら避難所運営(支援)を模擬体験するゲームです。夏の研修で、地域の方々と一緒に取り組まれることも有意義です。小学生向けのジュニア HUG もあります。

HUGで使用するカード(例)

52 世帯番号【14】  
南田1537【南田2班】  
噴火さん  
【男27歳】半壊  
母、世帯主、妻、長男  
世帯主の妻は妊娠6ヶ月。ねこ1匹を連れてきた。

64 世帯番号【17】  
南田1946【南田6班】  
東南海ちゃん  
【女5歳】全壊  
世帯主、妻、長女、長男  
地震で両親を失った3歳と5歳の姉弟。近所の人に連れられてきたようだ。

38 イベント番号【8】  
熱と咳きがひどいんですが、どこかに部屋はありませんか。

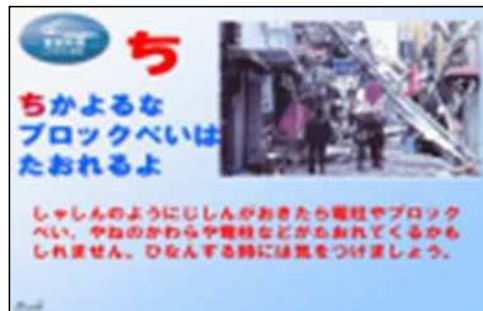
アイデア  
【IDEA】(職員対象)

「IDEA」は、地震発生後の対応について考える学校職員向けの図上訓練です。地震発生後、刻々と変化する状況に対し、各班(本部・消火班等)が必ず取るべき行動と、その行動を取るために必要な準備とは何なのかを、グループワークで明らかにしていきます。学校職員の災害対応への理解を深めると共に、現行の地震対応マニュアル等で災害時の状況変化に対応できるのかを検証することができます。



【防災カルタ】(小学校低学年)

カルタ遊びをしながら、防災の知識を身につけます。



【サバイバルスキルアップ講座】

いくつかのサバイバル術を、ご要望(内容や時間等)にあわせて設定します。

レクリエーション感覚でサバイバルスキルアップを図ります。

- ・ 簡易なけが人搬送方法  
例えば衣服と棒を用いた応急担架の作り方や、徒手による単独または複数名での搬送法などを紹介します。
- ・ 古新聞でつくる応急用の薪、スリッパなどの紹介  
新聞紙の再利用。スリッパは低学年の児童でも折り紙感覚で作ることができます。
- ・ 簡易トイレ紹介  
学校でワックスがけをしたときにでる缶を使って簡易トイレができます。段ボールや新聞紙で、自分専用の便座を作ってみます。

### 【地震体験車】（幼稚園年中組以上）

平成20年3月に配備された車両で、南海トラフ地震で想定される最大震度7の揺れを体験できます。（小さなお子さんが体験するときには、揺れを弱くすることができます。）過去に発生した地震（兵庫県南部地震等）の揺れの再現も体験できます。パワーポイント講座とセットでのご利用をお勧めします。（※ 雨天時は体験不可となります。）



### 【災害イメージトレーニング】（学校編・家庭編）

大規模災害時の周囲の状況を想像したり、トラブルへの対処法を考えたりするグループワークです。自分の身の周りで何が起ころのかイメージすることで、様々な備えの必要性に気づくことができます。最後のまとめでは、被害を減らすための備えについて話し合います。付箋紙を使いながら意見を出し合うため、活発な意見交換が期待できます。



地震発生直	15分後～	5時間後～	その後～
みんなや教室はどんな状態になるかな？ 付箋 付箋	学校周辺はどんな状態になるかな？ 付箋 付箋	学校はどんな状況になるかな？ 付箋 付箋	自宅に帰りたい。自宅はどんな状態かな？ 付箋 付箋
トラブル発生への対応策 付箋 付箋	トラブル発生への対応策 付箋 付箋	トラブル発生への対応策 付箋 付箋	トラブル発生への対応策 付箋 付箋
被害やトラブルを減らすための対策 付箋 付箋	被害やトラブルを減らすための対策 付箋 付箋	被害やトラブルを減らすための対策 付箋 付箋	被害やトラブルを減らすための対策 付箋 付箋

### 【防災ダック】（幼稚園・保育園・小学校低学年）

表面に危険（身の回りの危険、災害）のイラスト、裏面にポーズをとっている動物のイラストが描かれたカードを使います。指導者がカードを出し、子どもたちが一斉にその危険から身を守るポーズをとります。ポーズと一緒に声を出したりもします。くり返し遊んでいるうちに、「最初の第一歩」が自然と身につくようになります。



### 【紙ぶるる】（小学校中学年以上）

ペーパークラフト教材を使い、地震に弱い建物の特徴を実験しながら理解していきます。自分で作った紙ぶるるを揺らして、どんな時に大きく揺れるのか？どうしたら揺れなくなるのかをあれこれ試しながら学習していきます。

### 【ICT を活用した防災講座】（小学校4～6年）

防災教育アプリ「静岡県防災学習(地震)」を活用して防災講座を行います。同アプリを使用することで、最新の防災資料の提供が容易になるとともに、講師と子供たちの端末の連動によって、講師からの問いかけや防災クイズを通じた双方向のコミュニケーションが図られるなど、子供たちが主体的に考え、授業に参加する機会につながります。

※詳細は別紙で確認してください。

### 【ふじのくにジュニア防災士 意識・啓発コース】（小学校4年以上）

県では地域防災力の向上を図るため、将来を見据え、次代を担う若年世代への防災啓発が重要であることから、「ふじのくにジュニア防災士」を育成しています。意識・啓発コースでは防災講話と東日本大震災の語り部動画を使って、子どもたちの意識・啓発を進めていきます。講座終了後には、レポートを提出し、「ふじのくにジュニア防災士」の認定がされます。

※「意識・啓発コース」の他に演習とセットの「知識・行動コース」、地域局以外の講座を受講して申し込む「自主講義コース」があります。詳細は別紙で確認してください。